

# 令和6年度 事業計画

## 概要

シルバー人材センターの事業は、社会参加の意欲ある健康な高齢者に対し、地域社会と連携を保ちながら、その希望、知識及び経験に応じた就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することが目的と位置づけられている。超高齢化社会、長寿化の中、センターの役割が今まで以上に重要です。

当センターの特徴は、公共事業比率が9割以上と高く、安定的な事業は確保されている。また、事業運営を行う上で必要な財源である補助金について、行政並びに関係機関の深いご理解と手厚い支えにより、運営基盤が確保され非常に恵まれた環境にあります。

会員の状況は、入会率は約18.0%と高率ではありますが、就業会員の昨年度平均年齢は74.5歳と年々高齢となっていき会員の退会も多くなると推測されます。「健康で明るい暮らしのできるむらづくり」の一環として、更には、仕事別全般に渡り円滑な事業運営を図る上でも、一層の新規会員確保は重要課題であると認識しています。懸命な会員確保の中にあっても、式根島地区施設管理の就業会員不足は特に解消されてないのが現状であり、新規会員確保に向け積極的に取り組んでまいります。

次に、安全就業には日頃から注意をしていますが、「安全は全てに優先する」との基本理念のもと、就業会員の高齢化が進む中、安全管理委員会、安全就業推進員を中心に、「事故防止」には一層の強化に努めます。

事業の一環として以前から実施している社会奉仕活動についても、定例となっている場所・施設に加え、地域が今必要としていることを引き続き計画実施します。

今年度も、リーダーとしての職務を遂行するための育成、また、会員のための育成として、研修・講習等への積極的な参加を推し進めます。

今年1月1日には、「能登半島」地震が発生し甚大な被害がありました。現在も被災地支援、復旧に全力が尽くされています。現実はどこでも起こり得るということを改めて自覚し、当センターにおいても、危機感を常に持ち、安全対策の計画、避難訓練等実施に向けて取り組むべく引き続き検討してまいります。

令和6年度事業運営の目標は、前年度に引き続き次の通りとする。

### (1) 会員の確保・会員の増強に努めます。

※契約事業や依頼された仕事に迅速に対応できる会員の確保により、円滑な作業体制の強化に努めます。

※情報の共有化と連携の強化を図り、話し合いによる就業体制や諸問題の取組み等に向けた会員参加を推し進めます。

### (2) 安全就業に一層心掛けると共に危機への対処に備えます。

※安全に勝る仕事はなく、安全教育・安全対策に心がけ、事故『〇』を目標。

※リーダー育成のための研修・講習への積極的な参加を推し進めます。

※加齢に伴う就業体力の自覚・健康管理意識の強化を図ります。

※非常事態発生等に備え、危機管理に備えます。

(3) 運営財源の確保・仕事の拡大及び経費の節減に努めます。

※最低限必要な経営基盤の確保と経費節減の工夫を図ります。

※企業・家庭・公共団体等に対して、就業機会の開拓を積極的に展開し就業確保に努めます。

(4) 公益社団法人としての基盤確立に努めます。

※目的に沿った事業の推進を図ると共に、社会奉仕活動へ一層の理解を図ります。

(5) 円滑な作業体制・作業環境づくりに努めます。

※仕事別グループ構成の推進、技術・技能の継承、会員の現状にあった作業環境整備関係者と密接な意見交換を含め、円滑な作業体制を推進します。

そして、健康で元気に働く『高齢者の地域ステーション』として、社会情勢を充分見極めながら、地域のニーズにふさわしい事業運営を図ると共に、関係各機関と連携を密にして、働く喜びを通して地域社会へ貢献したいと考えています。

令和2年度から令和6年度までを目標に設定されている次の基本方針及び公益法人としての財政状況を充分踏まえて、令和6年度の事業計画を次のように設定し取り組んでまいります。

## 1. 基本方針

超高齢化時代における地域社会の更なる担い手として、『基本理念』をモットーに、健康で元気に働く喜びと経済的潤いを得ながら、豊かな技術と能力で地域社会に貢献すると共に、会員相互の交流を図り『働く拠点』としての、シルバー人材センターを目指します。

(1) 理念に沿った組織運営と健全な事業運営基盤の確立。

(2) 地域社会のニーズに対応出来る知識及び技能の習得。

(3) 無事故を目標とした安全教育・安全対策の強化。

(4) 就業の場を開拓・拡大し、就業意欲の推進を図る。

(5) 行政との連携を強化した事業運営の推進。

(6) 技能・技術の継承に努め、事業の円滑な運営を図る。

(7) 満足感・達成感・プライドの持てるシルバー事業運営。

(8) ボランティア活動の推進。

## 2. 令和6年度事業実施計画

(1) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のための就業の機会確保及び提供 (定款第2章第4条第1号)

	事 業 名	実施予定	対象 方法 参加者等
就業確保・開拓	会員の能力及び技能を活用出来る就業提供	常時	*毎作業開始時の適材就業配置・就業希望配置 *各種就業相談（作業班長、他）
	企業及び家庭からの受託拡大	隨時	*受託事業のPR・就業開拓の強化月間を設け実施 *企業・家庭の訪問・情報収集
	自主事業の開拓及び継承	隨時	*地域や住民のニーズに即した事業の開拓・継承等
	『提供』	年間 延日人員	*800件〔月平均 約67件〕 *20,000人日〔月平均 1,667人日〕目途
	三地区作業交流・作業応援	隨時	*若郷・本村・式根島（軽作業関係）

(2) 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施 (定款第2章第4条第2号)

	事 業 名	実施予定	対象 方法 参加者等
育成	正月飾り講習会	随意	*後継者育成・品質管理・障害者支援協力
	健康検診の受診指導	随时	*施設就業会員の健康管理指導 (特定健診・施設関係就業者の結核検診等)
	各種ミニ講習会	サロンデー他	*組織・理念について *安全関係（作業別安全就業基準・就業規約・KYT 安全衛生・ヒヤリハット・講話等） *健康センターによるもの（健康相談・健康に関する各種 講習「健康体操教室含む」） *島内施設等
安全	交通安全講習会	1回	*定時会員総会時にて
	作業用機器取扱い講習会	1～2回	*作業用機器等取扱い者対象 *三地区合同
	研修会・講習会等への参加	随时	*安全リーダー及び専門職等の人材育成
	交通安全実技講習会	1回	*車両運転者・3地区合同（交通公園にて）
	緊急・救急措置関係	1回	*実技講習・連絡体制の迅速、徹底
	危機管理関係	随时	*危機管理について検討・各種災害対応訓練計画実施

(3) 社会奉仕活動等を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業 (定款第2章第4条第3号)

	事 業 名	実施予定	対象 方法 参加者等
社会参加	社会奉仕活動	年2～3回	*公共施設周辺の草刈り清掃等（春・秋） (海軍墓地清掃含む) *その他村内状況により実施

## (4) 前条の目的を達成するための調査研究、相談及び事業の企画運営

(定款第2章第4条第4号)

	事 業 名	実施予定	対象 方法 参加者等
調 査 相 談	就業状況の把握・分析・検討	隨時	*理事会・事業委員会（事業の動向・事業実績・就業状況・苦情等について）・サロンティー
	作業及び配分金に関する検討	隨時	*理事会・事業委員会・サロンティー
	会員の就業に関する各種の相談	常時	*作業現場・サロンティー・作業終了後の打合せ
	高齢者個人に適応した仕事の配分及び職種の相談	随时 入会時	*就業者対象・安全就業への取り組み
運 営	会員の事業運営への参加	隨時	*サロンティーの充実・出席者拡大 *各地区（作業班・作業班長）中心の自主的な作業運営 *地区別活動（地区活動・打合せ・問題解決の話し合い等） *シルバー理念の浸透
	会議・研修・講習会等への参加	随时	*役職員・会員の積極的参加
	会員拡大活動	随时	*入会勧誘（チラシ他・PR用品配布・個人へ直接）
	就業種別会議・意見交換会	各1回程度	*現場の実状・意見交換等 *仕事別グループの構成化
	作業班長会議	毎月末	*作業の円滑化等
広 報	広報「シルバーにいじま」発行	年2回	*全戸配布（発行部数 1,400部×2回予定）
	会報「生きがい」発行	年5回	*会員対象（発行部数 260部×5回予定）
	関係機関紙への掲載	隨時	*広報「にいじま」他
	広報活動	10月	*入会勧誘・PR用品配布（普及啓発促進月間）・2地区
	作業予定表の配布	毎月	*役員・委員・関係機関及び掲示
	イベントへの参加	通年	*地域行事へ参加
	情報発信開示	通年	*HPによる情報発信開示
安 全 対 策	安全祈願祭	年頭	*安全管理委員会（祈願祭・神様詣り）
	安全パトロール	2回	*安全管理委員会（作業現場への巡回）
	安全就業日	毎月	*安全就業の徹底（毎月初め）
	契約前の作業確認	隨時	*現場下見（作業の安全確認）・作業班長他
	準備体操・ミーティング	毎日	*安全管理委員・作業班長打合せ
	作業前の安全確認・対策	隨時	*作業手順、対策打合せ・作業班長他
	作業現場巡回・安全対策・指導	通年	*安全作業・保護具着用徹底・保護具点検整備
	作業機器・用具の点検整備	隨時	*定期（月1回）・日常の点検整備
	車両点検整備	毎月	*定期（月1回）
	シルバー総合保険加入	年度始め	*全会員加入

## (5) その他センターの目的を達成するために必要な事業

(定款第2章第4条第5号)

	事 業 名	実施予定	対象 方法 参加者等
整備	作業機器整備	隨時	*3地区整備
	作業車両更新	隨時	*3地区車両状況に応じて
	事務所環境整備	隨時	*状況に応じて